

# ルーペでの観察の仕方

02

教師用解説書

## 実験概要

ルーペを用いて、肉眼では観察が難しい小さなものを拡大し、観察する。

## 活動の目的

ルーペの正しい使い方を知る。

## 実験材料

- ルーペ
- トマトの苗



## 活動手順

### ① 観察物が動かせる場合のルーペの扱い



ルーペを目に近づける。

脇締めて、ルーペが動かないように固定する。

観察物を近づけたり遠ざけたりし、ピントが合うところを探す。

## ②観察物が動かせない場合のルーペの取り扱い



脇締めてルーペを目に固定し、自分の体を観察物に近づけてピントの合う位置を探す。



ルーペで太陽を見ては絶対いけない。失明する恐れがある。

### わかってほしいこと

- ルーペを使うことで、肉眼で見にくい小さい部分の観察が可能になる。
- 観察物に応じて、ルーペを正しく扱うことが大切である。

### 発展

- ★ ルーペを使って観察すると、肉眼より詳しく見えるので、肉眼では気づかなかったことに気づく。
- ★ 花や他の植物の雌しべ、雄しべなどを拡大して観察し、肉眼では見えなかった植物のつくりを発見させることは重要である。
- ★ ルーペを2つ組み合わせて、どのように見えるか試してみるのも面白い。2枚のレンズの位置や観察物とルーペとの距離を変えると、顕微鏡や望遠鏡の原理が発見できる。
- ★ 老眼鏡も物を拡大して見ることができる凸レンズでできている。試してみよう。